

2024年 年頭のごあいさつ

あ

けましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

1月1日に能登半島地震が起き、甚大な被害が発生しております。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。あわせて、被災地が一日でも早く復旧・復興することをお祈り申し上げます。

さて、昨年は、フラワー長井線鉄道全線開通100周年や鷹山地区拠点施設「白鷹の杜たかやま」の全面オープンなど、本町にとって明るい話題が数多くありました。中でも、スポーツ界においては、東北中学校総合体育大会において、陸上競技の低学年女子リレーで、団体種目では初となる優勝の快挙を成し遂げるなど、多くの方が、東北大会、全国大会に出場され、数々の輝かしい成績を収められました。また、国際大会においても、世界に羽ばたくアスリートとして、見事な成績を収められております。

少子高齢化や人口減少に加えて、新型コロナウイルス感染症や原油高騰、物価高騰などが長引き、町民生活や町内産業にも大きな影響を及ぼ

している中ではありますが、白鷹町誕生70周年を迎える「辰年」の今年も、このように多くの町民の方がご活躍され、昇り竜のように飛躍することを期待するものです。

白鷹町議会は、昨年4月に選挙が行われ、5月から新たな顔ぶれでスタートを切り、11月には、議会の総意として、「消防団の機能強化」や「移住・定住の取り組み」、「人材の確保」などについて政策提言を町長に提出しました。このように、議会としても、定例会等の審議のみならず、政策提言等を行いながら、より良いまちづくりを進めるとともに、議員の資質の向上を図りながら、町民の皆さまの負託に応える議会運営を目指してまいります。加えて、地方自治体の意思を決定する機関として、また、執行機関を監視する機関として、町民の皆さまの声やご意見を町政に反映していく所存でありますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が活力に満ちあふれ、町民の皆さまが健康で笑顔で暮らせる素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

「活力あるまちづくりを目指し、飛躍する年に」

白鷹町議会議長 管原 隆男



迎春

あ

けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのことに慶び申し上げます。

また、この度の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。本町といたしましても、関係機関と連携し被災地域の一日も早い復旧・復興に向け、支援に努めてまいります。

さて本町では、人口減少対策を総合的に講じ、未来につながる暮らしを大切にすするため、「職住育近接」の実現に向けた取り組みを本格化し、定住人口の確保、持続可能なまちづくりを目指しています。

昨年4月には、新たな地域拠点施設として鷹山地区拠点施設「白鷹の杜たかやま」がオープンしました。同施設は、自然エネルギーの地産地消を図るなど自然環境との共生にも寄与しており、今後も町の森林資源を活用し、「緑の循環システム」の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

10月には人材確保に寄与する取り組みとして、マルチワーク体験ツアー

を実施しました。〝白鷹町での多様な働き方〟という選択肢を知っていたただく機会となり、今後も地域の担い手の確保、地域人材の育成を図る事業を展開してまいります。

また、昨年はフラワー長井線が全線開通100周年の節目を迎え、これまでの歴史や思いが、次の世代に引き継がれた瞬間でありました。

白鷹町は、本年10月に町誕生70年の節目を迎えます。これまでの困難や逆境を乗り越え、発展を続けることができたのは、先人たちの努力と挑戦のたまものであり、今日を生きる私たちは、そのことを深く胸に刻み、伝統と歴史を引き継ぎ、次の世代へとしっかりとバトンをつないでいかなければなりません。

世界的な流れとして、国際情勢の変化、気候変動や人口問題など、様々な課題に直面しており、私たちを取り巻く環境は日々変化しています。こうした変化の激しい時代においても、常に前向きな志を持ち、共創のまちづくりの理念の下、様々な施策を着実に進めてまいり所存です。

結びに、本年が皆さまにとりまして実り多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

「未来につながる暮らしを大切に、持続可能なまちづくりを目指す」

白鷹町長 佐藤 誠七

